

新たに緩和ケア認定看護師が誕生しました！！

外科病棟から緩和ケアの早期介入や一般病棟で終末期を迎える患者様の全人的苦痛の緩和、痛みの緩和、チームアプローチなど、日々のケアでの困りごとに対し、最善のケアを提供できるよう一緒に考えていきたいと思えます。お気軽に連絡してください。



■全国的になぜ『緩和ケア・がん看護』必要と言われるようになったの？

1980 年以降、日本人の死亡原因の第一位は『がん(悪性新生物)』となり、がん対策基本法が作られました。がん対策推進基本計画を政府が進め、その関係から日本看護協会も「がんと診断された時からの緩和ケアの推進」に関して看護師への期待に答えるよう活動をしています。平成 26 年度診療報酬改定でがん患者指導管理が新設され、がん診療連携拠点病院の施設では、がん患者指導管理料の算定の件数や算定した診療科の報告をすることが求められるようになりました。



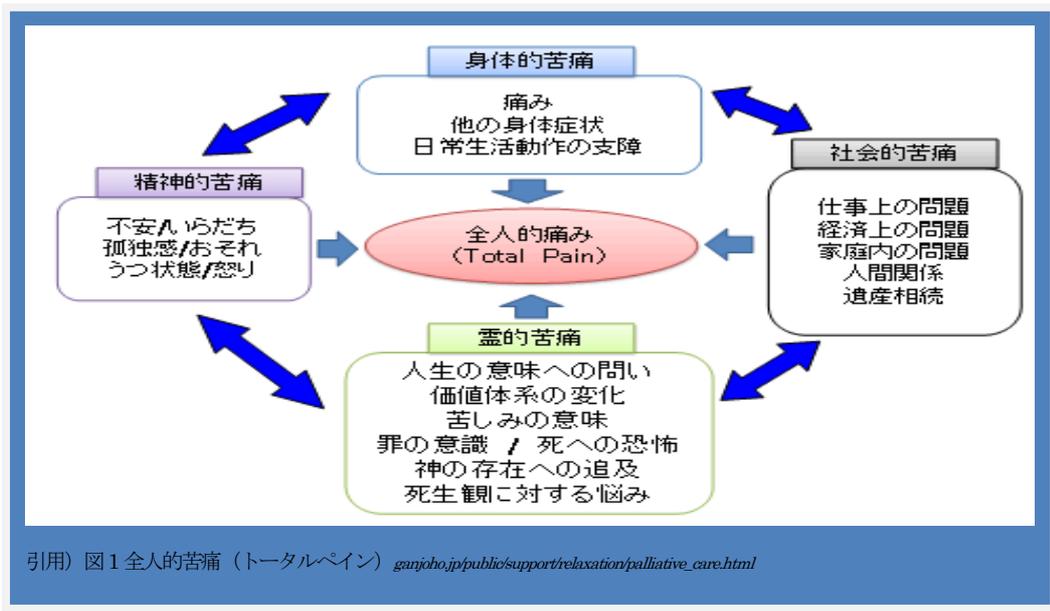
■TOPICS 今回のテーマ

今回は「全人的苦痛(トータルペイン)」について紹介します。

患者の苦痛は身体的苦痛のみとして捉えるのではなく、精神的側面や社会的側面、スピリチュアルな側面からも捉える必要があります。これら 4 つの苦痛は、図 1 に示したように互いに影響しあっており、全体として患者の苦痛を形成していると言われてます。

例えば、身体の痛みを訴える場合でも、その背後にはこれからどうなるかなどの精神的苦痛や社会的な役割が果たせない苦悩、つらさなどを抱えており、その全体として「痛い」と訴えていると理解することが重要です。

身体的側面だけに捉われるのではなく、その症状によってどんな影響があるのか、どんなことに困っているのかなどにも目を向けます



引用) 図1 全人的苦痛 (トータルペイン) ganjoho.jp/public/support/relaxation/palliative_care.html

患者の QOL 維持・向上のために全人的苦痛のアセスメントを行う際に、OPUTIM プロジェクトで作成された「生活のしやすさに関する質問表」を用いてアセスメントを行うと、全人的苦痛や患者のニーズが捉えやすくなります。是非活用して下さい。

生活のしやすさに関する質問表

患者様用

診療科: _____ 登録番号: _____ 氏名: _____ 日時: _____ 月 _____ 日 _____

1. 気になっていること、心配していることや相談しておきたいことをご記入ください
(該当するところまで□にチェックをしてください)

病状や治療についての情報、説明
 経済的な問題
 日常生活の心配(食事、家事、仕事など)
 その他(下記に自由に記入ください)

2. 身体の症状についてお伺いします

① 現在身体のつらい症状はありますか?
 ある ない

② 身体の症状はどの程度生活の支障になっていますか?
0: 症状なし 1: 現在の治療に満足している 2: それほどひどく満足している 3: 我慢できない 4: 我慢できない 5: 我慢できない 6: 我慢できない 7: 我慢できない 8: 我慢できない 9: 我慢できない 10: 我慢できない

3. 今この状態についてお伺いします

① この1週間の気持ちのつらさを平均して、最もつらいからつらくないまで数字をつけてください

② その気持ちのつらさのために、この1週間の最も生活に支障があるからつらくないまで数字をつけてください

4. 身体の痛みやこころのつらさなどをやわらげる緩和ケア看護師の診療を...□希望する
例) 痛みが強い方、吐き気がつらい方、眠れない方 など

記入後は診療科受付にご提出ください

生活のしやすさに関する質問表

氏名: _____ ID: _____

記入日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 記入者: 患者さん ご家族 医療者 ()

■ 気になっていること、心配していることや相談しておきたいことをご記入下さい

病状や治療についての情報、説明
 経済的な問題
 日常生活の心配(食事、家事、仕事など)

■ 現在のからだの症状はどの程度生活の支障になっていますか?

0: 症状なし 1: 現在の治療に満足している 2: それほどひどく満足している 3: 我慢できない 4: 我慢できない 5: 我慢できない 6: 我慢できない 7: 我慢できない 8: 我慢できない 9: 我慢できない 10: 我慢できない

■ この2週間、以下の症状が一番強いときは、どれくらい強かったですか? (0: 最もつらい、10: 最もつらくない)

痛み(一番強いとき)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
吐き気(一番強いとき)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
なみけり(少し)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
だるさ(少し)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
息苦しさ(少し)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
食欲不振	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
おなかの膨らみ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
吐き気	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
嘔吐 ()回/日											
便秘 ()回/週											
尿量	なし	少し	多い								
尿色	正常	赤	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄

■ 1日を通して症状の変化はどのくらいに近いですか? (一番強いつまみから一番弱いつまみまで)

1. ほとんど変化がない 2. 普段はほとんど変化がないが、何日か強いときがある 3. 普段から強い症状があり、1日の間に強くなる時がある 4. 強い症状が、1日中続く

■ 症状が強くなる時と弱くなる時とを教えてください

定期的な薬を飲む前	夜	からだと動かしとき	食事(前・後)
排尿や排便をするとき	その他 ()		

■ 痛みは、
■ 今までと同じ場所ですか? → 同じ・ちがう 場所 ()
■ 「びりびり電気が走る」、「じんじんとする」感じはありますか? → 完全によくなった だいぶよくなった 少しよくなった 変わらない

■ 今この状態

① この1週間の気持ちのつらさを平均して、最もつらいからつらくないまで数字をつけてください

② その気持ちのつらさのために、この1週間の最も生活に支障があるからつらくないまで数字をつけてください

■ 痛みなど、このつらさをやわらげる緩和ケア看護師の診療を... □希望する □希望する

■ 経済的な問題や、日常生活の心配に対する医療ソーシャルワーカーの診療を... □希望する □希望する

**以下、医療者記入欄 (化学療法の影響をみるためのものです)

レジメ番号 () コース () 科目 ()

グレード	0	1	2	3	4
PS	<input type="checkbox"/>				
白血球	<input type="checkbox"/>				
中性球	<input type="checkbox"/>				
血小板	<input type="checkbox"/>				
血尿酸	<input type="checkbox"/>				
腎臓	<input type="checkbox"/>				
下痢	<input type="checkbox"/>				
便秘	<input type="checkbox"/>				
神経痛	<input type="checkbox"/>				
神経障害	<input type="checkbox"/>				

がん看護で活用できる理論紹介



📖 マーガレット・ニューマン理論とは？

ニューマン理論は、全体性の理論の代表です。（「全人的苦痛(トータルペイン)」は苦痛の側面で患者を捉えるため、全体性の理論からみると細分化されたもとを考えます。）

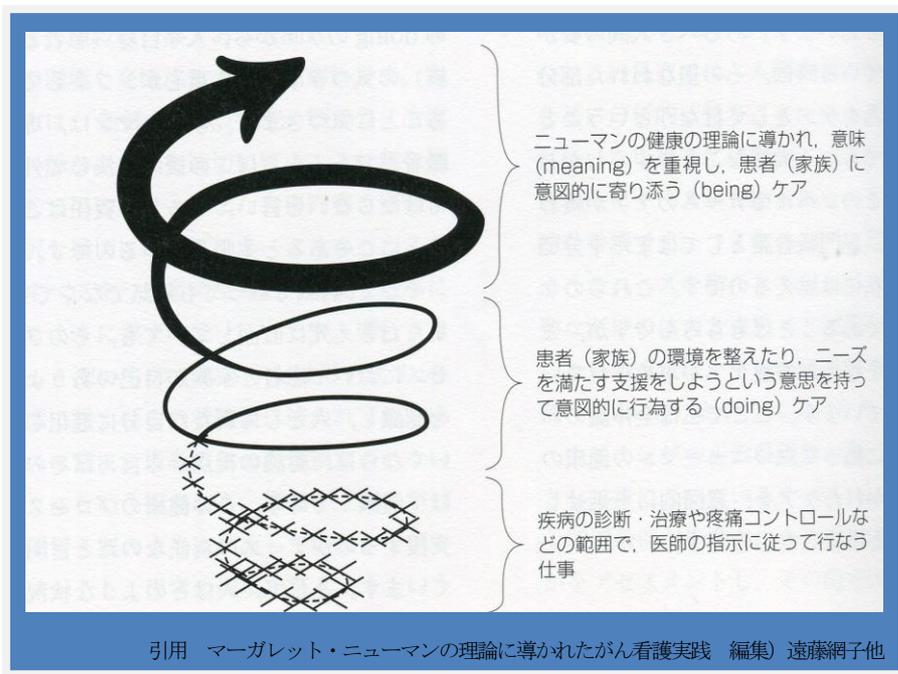
人格ある人間として、自分自身に、自分の人生に、自分がいま生きていることに意味が見いだせないときには苦痛がある状態であると考え、どのような苦しい時であっても、意味を見いだすことができるように支援することです。そうすることで、いま(現在)に生きることができるようになる看護です。

“看護師が行うケア”を

右図のように説明しています。

*ご興味がある方は、定期的に学習会や研究会を行っていますので、ぜひご参加ください。

患者さんやご家族のみならず、日々の看護も変化・成長が目に見えるように分かるようになりますよ！！



📖 研究経過発表してきました!!

ニューマン理論 対話集会で、参加している皆様と化学療法をしている患者さんやご家族について討議してきました。



苦悩しながら化学療法を継続しているがん患者・家族と看護師のパートナーシップの過程
—Margaret Newman の理論に基づいた実践的看護研究

研究者: ○井本俊子、加藤円香、青池英子、中川典子、小野美樹



■ニューマン理論・研究・実践研究会の広場

第3回 学習会のお知らせ

日程：2018年2月18日（日）10:00-16:00

場所：神奈川県立がんセンター

ホームページ：<http://www.newmanpraxis.gr.jp/greeting/>

参加費：会員2500円、非会員3000円



ロゴマーク



特定非営利活動法人(NPO)

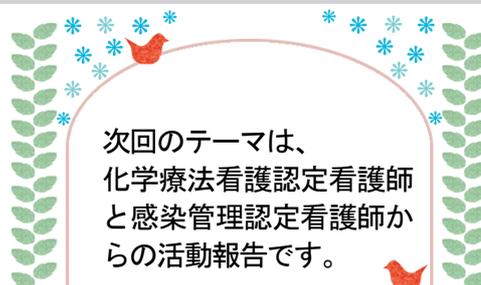
ニューマン理論・研究・実践研究会

Health as Expanding Consciousness through Newman Dialogue Circle (HEC)

編集後記

<ニューズレターの発行によせて>

看護師をはじめ院内・外の多くの方々に私どもの活動を知っていただき、ご相談いただくことで、患者さんによりよい看護をご提供できればという思いでおります。今後ともよろしく願い申し上げます。



公立学校共済組合 関東中央病院 看護部